

学校名	小平市立花小金井小学校	実施年月日	平成16年11月16日
指導者	竹内 智	授業コード	J - 1
学年	3年生	教科	算数
単元名	たし算とひき算の筆算		
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数のしくみに着目したり既習の計算方法を活用したりして、筆算形式による3位数の加減計算の方法を考えようとする。(関心・意欲・態度)</li> <li>・筆算形式による3位数の加減計算を2位数の加減計算を基に発展的に考える。(数学的思考方)</li> <li>・筆算形式による3位数の加減計算ができる。(表現・処理)</li> <li>・筆算形式による3位数の加減計算のしかたを理解する。(知識・理解)</li> </ul>		
単元の指導計画	<p>*本学年では少人数授業(2クラス3展開)を行っている。</p> <p>第1次 第1・2時 3位数+3位数の筆算のしかたを理解し、計算する。</p> <p>第2次 第1・2時 3位数-3位数の筆算のしかたを理解し、計算する。</p> <p>第3次 第1・2時 課題別選択学習(発展的な学習・補充的な学習)</p>		
本時のねらい	<p>3位数どうしの加減計算について、その考え方とやり方をもう一度振り返らせることを通して、学習内容のいっそうの定着を図る。</p> <p>(課題別選択学習-補充的な学習)</p>		

### 本時の学習活動の展開

導入	<p>【1】問題を提示する。</p> <p>問題:「438円おさいふにお金が入っていました。スーパーで買い物をしたらさいふの中身は289円になっていました。スーパーで使ったお金はいくらでしょう」</p> <p>【2】立式させ、<math>438 - 289</math>になるわけを考えさせる。</p>
展開	<p>【3】<math>438 - 286</math>の答を筆算で求めさせる。</p> <p>*わからない子にはデジタルコンテンツを用いて支援する。</p> <p>【4】<math>438 - 286</math>の筆算のしかたを発表させる。</p>
まとめ	<p>【5】デジタルコンテンツを活用して、3位数-3位数の筆算のしかたについてまとめる。</p> <p>【6】練習問題をとかせる。</p>
デジタルコンテンツの利用計画と利用主旨	<p>大日本図書のひき算ソフトを使用する。これは、3位数-3位数の筆算について視覚的に表示したものである。</p> <p>本時は、単元末の課題選択学習として補充コースの授業であり、比較的計算を苦手としている子どもが集まることが予想させる。そこで、上記のコンテンツを支援の場面やまとめの段階で活用する。そこで視覚に訴えることにより、筆算の計算方法について理解をより深めさせていきたい。</p>

(備考1) 枠の大きさを変更しても構いません。

(備考2) 学習活動の展開については自由フォーマットの別紙を添付しても構いません。その際はその旨を上枠に記入してください。